

2021 School Guide

SEISHU HIGH SCHOOL

Since 2020

工業科



普通科

生み出すつながら
創り出すあした



商業科



山梨県立青洲高等学校

令和2年4月

新たな学びのスタイルが始まりました！

校訓

「進取」

「敬愛」

「共創」

教育方針

1. 確かな学力の定着を図るとともに、主体的に社会を生き抜いていく力の育成
2. 多様性を認め合い、協働しながら学び活動し続ける生徒の育成
3. 地域・社会とのつながりを通じて、社会に貢献できる生徒の育成

皆さんが活躍するこれからの社会は、構造や雇用環境が大きく変化し、現在とは全く異なった世の中になることが予想されています。そんな世の中を生き抜くために、今求められているのは、さまざまな価値観に触れ、幅広い視野に立って知識や技術を身につけることです。

青洲高校では、皆さんの一人一人の『可能性』と『チャンス』を最大化し、社会に出る力を備えた生徒、そしてこれからの社会で輝ける生徒の育成を目指します。

【アカデミックスクエア】



総合制高校の魅力

- 本校は、普通科・工業科・商業科をそれぞれ独立して設置した総合制高校です。各学科の専門性を生かして、生徒の興味関心や進路目標に応じた知識・技能・技術を高めることができます。
- 3年次には、学科を超えた連携科目を設置し、卒業後の一人一人の進路に応じて他学科の専門科目の学習も可能です。

特徴的な授業

- 1年次に履修する『峡南地域学』は、「地域の防災」と「地域の伝統・文化」を2つの柱に、学科の枠を超えた協働学習に取り組み、グループ学習やフィールドワークを展開します。
- 『総合的な探究の時間』（青洲学）では、3年間を通じて、工業、商業を含めた幅広い探究活動に取り組みます。

充実した教育環境

- 本館の中央に配置された『アカデミックスクエア』は、図書室を併設した2階から4階までの吹き抜けの構造となっており、多くの生徒が交わるコミュニティスペースとなっています。
- 『コミュニティゲート』（生徒用玄関）の隣には、最新の視聴覚器材が整備された『青洲ホール』があります。280名が収容可能で、様々な分野の専門家を招いての講演会などが開催されます。
- 全館に渡ってWi-Fi環境が整備されており、多くの教科の授業でプロジェクタや電子黒板などのICT機器を活用した先進的な授業が展開されます。





工業科

未来のプロフェッショナル
を目指して

入学時は学科に属さず、前期に機械系・土木系両学科のものづくり技術の基礎を学びながら、所属する学科を決めます。後期からは各学科の授業が始まり、専門技術を磨きます。基礎となる普通教科の学習と併せて、資格取得や検定に積極的に取り組みながら自分の将来を見つめ、就職・進学の道を自ら拓いていきます。

機械工学科

機械系の見方・考え方を働かせ、見通しを持って実験・実習を行い、ものづくりの基礎となる基本的な技術・技能を身につけ、地域産業の土台を支える製造の担い手を育てます。

情報化が加速し、変化の先行きを見通すことが難しい時代の技術者は、生産性や効率を高めること以上に、答えがない課題と向き合う力や製品が環境や社会生活に及ぼす影響に気を配る力が必要になります。

ものづくりに関する確かな知識や技術だけでなく、工業技術の持続的な発展に寄与できる、これからの職業人として必要な資質・能力を育成することを目指します。



土木工学科



生活や産業・経済活動に必要不可欠な道路や鉄道、ダム、上下水道、港湾などの社会基盤の新設と設備・保全に加え、持続可能な社会のための自然環境の保護と共存を支えるのが「土木」です。

「土木」に必要な基礎的・基本的な知識や技術を探究し、将来建設業界で幅広く活躍し、自然災害に強く持続可能な社会の構築に、意欲的に貢献できる土木技術者の育成を目指します。また、現場管理者に必要な各種資格取得にも力を入れていきます。

機械工学科からは、取得した資格や技能を活用する県内外の有力製造各社へ即戦力としての就職が期待されます。また、土木工学科では、土木現場を管理するための国家資格や土木技術者としての技術・技能を取得した後、即戦力して県内外の有力建設会社等への就職が期待されます。また、両科とも大学をはじめとする上級学校へ進学することも可能です。

《令和3年度・1年次の教育課程》

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34
国語総合	世界史A	数学Ⅰ	科学と人間生活	体育	保健	音楽	コミュニケーション英語Ⅰ	家庭基礎	工業数理	工業技術基礎	情報技術(前)		峡南地域学	総合探究	LHR																		
						美術					機械工作	環境工学				測量																	

※「情報技術」は前期のみ。後期は機械工学科と土木工学科に分かれて各学科の専門科目を学習する。

【年間行事】(1年次関係)

4月	入学式 部活動体験	10月	体育大会 新人大会
5月	高校総体 第1回定期試験	11月	増穂・青洲デパート 第3回定期試験
6月	インターハイ予選 学園祭(4校合同)	12月	(2年次修学旅行)
7月	第1回三者懇談	1月	情報処理検定 簿記検定
8月	学校説明会 基礎学力テスト	2月	スキー教室 第4回定期試験 第2回三者懇談
9月	第2回定期試験 前期終業式	3月	卒業式 後期終業式

【日課表】

S H R	8:35~ 8:45
1校時	8:50~ 9:35
2校時	9:45~10:30
3校時	10:40~11:25
4校時	11:35~12:20
昼休み	12:20~13:05
5校時	13:05~13:50
6校時	14:00~14:45
7校時	14:55~15:40
清掃	15:40~15:50

※令和3年度は本校と市川・峡南・増穂商業の生徒と一緒に学校生活を送ります。年間行事は4校で調整しますので、今後変更の可能性もあります。



【部活動】

体育局

- ・ 空手道
- ・ 弓道
- ・ 野球(男)
- ・ サッカー(男)
- ・ ソフトテニス(男女)
- ・ 硬式テニス(男女)
- ・ バスケットボール(男女)
- ・ バドミントン
- ・ バレーボール(女)
- ・ 陸上
- ・ 応援

文化局

- ・ 音楽
- ・ 美術
- ・ 書道
- ・ 華道
- ・ 茶道
- ・ 写真
- ・ 吹奏楽
- ・ ユネスコ
- ・ E S S
- ・ 家庭
- ・ 商業研究
- ・ 工業研究



※令和3年度は、青洲・市川・峡南・増穂商業の各部の設置状況や部員数などを考慮しながら、合同で活動する予定です。



前期募集情報

● 志願してほしい生徒像

- (1) 基本的な生活習慣を身につけており、本校を志願する動機や目的が明確な生徒
- (2) 自らの将来について真剣に考え、努力を惜みず意欲的に取り組める生徒
- (3) 社会に目を向けて、積極的に人や社会と関わろうとする生徒
- (4) 生徒会活動、体育的活動、文化的活動、ボランティア活動等において優れた資質や実績を持っている生徒

● 前期募集選抜方法

- (1) 募集定員に対する募集率 普通科：30%以内 工業科：40%以内 商業科：40%以内
- (2) 出願の条件 「志願してほしい生徒像」に該当し、次にあげる条件 A または B を満たす生徒

条件A

- 【普通科】 学習成績が優良で普通科を志願する理由が適切であり、進路実現に向けて意欲的に取り組む生徒
- 【工業科】 工業関係の専門的知識や技能の習得に高い関心を持ち、進路実現に向けて意欲的に取り組む生徒
- 【商業科】 ビジネス活動に関する専門的知識や技術の習得に高い関心を持ち、進路実現に向けて意欲的に取り組む生徒

条件B

【全 科】 本校の学習に適應できる学力を有し、次の(1)(2)のいずれかに当てはまり、入学後もその活動を継続する強い意志がある生徒

- (1) 部活動について
 - (ア) 中学校において次の体育的・文化的活動に継続的に取り組み、顕著な成績をおさめた生徒、または優れた能力と適性を有する生徒
野球 (男), バスケットボール (男), バレーボール (女), 合唱
 - (イ) 中学校において上記以外の体育的・文化的活動に継続的に取り組み、顕著な成績をおさめた生徒
- (2) 生徒会活動等について
生徒会長または副会長としてリーダーシップを発揮した生徒、あるいはボランティア活動や地域貢献活動に継続的かつ主体的に取り組んだ生徒

(3) 面接

実施のねらい	実施形態等	検査時間
本校を希望する動機、適性・興味・関心、学習意欲、将来の希望、社会に対する関心を確認する。	個別面接	10分～15分程度

(4) 本校で定める検査

検査方法	検査内容
特色適性検査	全員に実施する。時間：50分 検査内容：条件Aについては各科によって異なる。条件Bについては各科とも共通問題とする。
特技	出願の条件Bで志願した者を対象とし、「活動実績報告書」等により審査する。

(5) 選抜資料比重

区分	調査書	面接	所見	特色適性検査	特技
条件A	50	20	5	25	—
条件B	30	20	5	15	30

※調査書の学習記録は、第1学年から第3学年を評価の対象とする。

Q&A

Q1. 校舎は完成しましたか？

A. HR教室や図書館などが整備されている本館と工業科の実習棟は完成しました。令和3年度は、引き続き体育館やテニスコート、弓道場を建設します。すべての工事が終了するのは、令和4年度の予定です。

Q2. 市川・峡南・増穂商業の生徒と一緒にですか？

A. 令和3年度は、青洲高校の1・2年次生と市川・増穂商業・峡南の3年生が同じ校舎の中で一緒に学校生活を送ります。毎日の授業時間やいろいろな学校行事などは協働して行います。

Q3. 部活動はどのように行われますか？

A. 令和3年度は、青洲・市川・峡南・増穂商業の各部の設置状況や部員数などを考慮しながら、合同で活動する予定です。



山梨県立青洲高等学校

<http://www.seishu.kai.ed.jp/>

〒409-3601 西八代郡市川三郷町市川大門1733-2
TEL. 055-272-1161 FAX. 055-272-1164



アクセス

- JR身延線市川本町駅より徒歩10分
- 中部横断道増穂ICより車で10分